

こちらの施設もご利用ください



伊藤家

江戸時代に建てられた商家を移築、復元した建物で、遠野の郷土料理などを提供する飲食店。宴会なども可。



赤羽根蔵

江戸時代の蔵を活用したお土産処。どぶろくや遠野のお菓子など、遠野ならではのお土産をそろえている。



城下町資料館

江戸時代の遠野南部家の資料をリニューアルして展示。城下町遠野の様子を学ぶことができる。



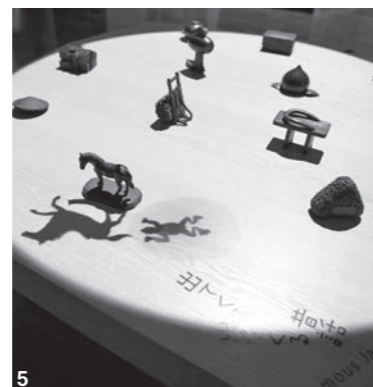
小竹蔵

大正～昭和時代の昔なつかしの資料を展示。ポスターやカメラ、おもちゃなど、当時の雰囲気味わえる。



昔話蔵

遠野に語り継がれてきた昔話に登場する人物や道具などを、映像や音声、影絵などさまざまな手法で紹介します。



5



6



7

4_昔話とゆったり触れ合えるスペース 5_「玉手箱」や「桃」など昔話に登場する道具に触れると、その話に関連する影が浮かび上がる展示 6_「浦島太郎」や「桃太郎」などの話を一部自分でアレンジできるコーナー。思わぬ結末になることもあります 7_遠野や日本の昔話の本を多数配架



とのお物語の館 リニューアルオープン

昨年10月から改装工事のため休村していた旧とのお昔話村が「とのお物語の館」として生まれ変わりました。新設された施設の概要や特徴を中心にご紹介します。

とのお物語の館とは？
リニューアルされた旧昔話村や柳田國男展示館に加え、食事処「伊藤家」、土産処「赤羽根蔵」などの周辺施設一体の総称。詳細は以下の図のとおり。

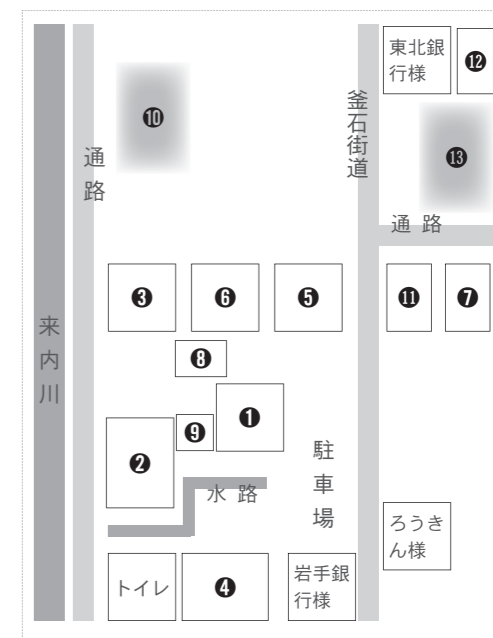
柳田國男展示館

『遠野物語』の著者で、日本民俗学の創始者でもある柳田國男の生涯とその功績を伝えます。



1_柳田の隠居所に彼の残した著作を多数展示し、功績を紹介している 2_旧高善旅館を改装したコーナーには、柳田が築いた民俗学の形成過程を紹介。研究の足跡をたどることができる 3_同じく旧高善旅館に展示した柳田の生涯

とのお物語の館案内図



遠野座

遠野の昔話や郷土芸能、ミニコンサートなどが披露されるスペースです。もともと同所にあった造り酒屋の蔵を活用し、ステージを設けました。団体のお客様にも楽しんでいただけるように72席の座席を準備。壁面には遠野の語り部や郷土芸能をパネルで紹介しています。入口にはたくさんののぼりを立てており、お客様を出迎えます。



基礎情報

- ◆営業時間 9時～17時
- ◆入館料 大人500円、高校生以下200円
- ◆休館日 毎年2月にメンテナンス休館
- ◆駐車料金 1時間150円
- ◆総敷地面積 4,866.84㎡
- ◆総工事費 3億2,530万円
- ◆問い合わせ 市文化課 ☎63-2340

蔵を活用した「遠野座」。ここでは神楽などの遠野の郷土芸能、語り部による昔話を楽しむことができます。

このほか昨年オープンしたひつつみなどの遠野の代表的な食事を味わえる食事処「伊藤家」、どぶろくや明けがらすなど遠野の名産を販売する土産処「赤羽根蔵」、大正～昭和時代のおもちゃや漫画本、ポスターなどを展示する「小竹蔵」などがあり、まちなかで遠野の魅力を存分に味わうことができる施設となっています。

駐車場は24時間利用可能で、普通車23台を収容できる広々としたスペースを確保。ぜひ、足を運んでみてください。

まちなか観光施設 待望のオープン

旧とのお昔話村の全面改装工事は、1986年のオープン以来初めて。遠野に語り継がれてきた昔話の世界を楽しく学べる施設で、中心市街地の観光の拠点となるように整備しました。

リニューアルの大きなポイントの一つ目は「昔話蔵」。遠野に伝わる昔話を映像や写真、音声、実物資料などで体感できます。二つ目は「柳田國男展示館」。『遠野物語』の著者である柳田國男が遠野を訪れたときに宿泊した旧高善旅館や隠居所を改装し、その生涯や作品、功績を紹介した展示です。三つ目は同所に昔からあった造り酒屋の

- ①昔話蔵
- ②柳田國男展示館 (旧高善旅館)
- ③柳田國男展示館 (旧柳田國男隠居所)
- ④遠野座
- ⑤伊藤家
- ⑥赤羽根蔵
- ⑦城下町資料館
- ⑧小竹蔵
- ⑨総合案内
- ⑩水辺の公園
- ⑪遠野まちなかギャラリー
- ⑫蔵の道ギャラリー
- ⑬蔵の道広場